

平成 29 年度第 3 回学校関係者評価委員会兼信頼される学校作りのための委員会について(報告)

日 時 平成 3 0 年 2 月 1 5 日 (木) 1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0

会 場 総合学館 2 階 C 2 4 教室

参加者 評価委員・校長・教頭・事務長・4 部主任・学年主任・学校評価係

質疑・意見交換の主な内容(まとめ)

- 1 平成 2 9 年度 進路結果状況について
 - ・(質疑) 進学先を見ると県内志向が強いようだが、それはなぜか。
 - ・(回答) 親元から進学先に通いたいと考える生徒や将来は県内で就職したいと考える生徒が多くいた。また、できるだけ県内の学校に進学してほしいと考える保護者も多く、生徒と保護者の意見が合致した結果だと考える。
 - ・(意見) 経済的な問題で希望の進学先に進めなかったり、奨学金の返済に苦慮したりする話を耳にしたことがある。もし本校にもそのような生徒がいるならば、学校を通して県に現状を伝えることも必要かもしれない。
- 2 大学入試改革に伴う本校での取組について
 - ・(質疑) 進路指導部より「大学入試改革に伴い、平成 3 0 年度入学の新 1 年生より高校 3 年間の活動をデータベース化していく」と話があったが、そのデータは具体的にどのように活用されるのか。
 - ・(回答) このデータは、新 1 年生が 3 年生で受験をするときに活用する。大学入試改革により生徒が高校 3 年間で何を学び、どのように思考力・判断力・表現力を身につけたかを調査書に記載することとなった。そのためには 1 年時からの活動を記録・保管する必要があるため、データベース化して準備を進めたい。すでに導入している学校もある。
- 3 各学年の重点目標「基本的な生活習慣を見につけ、けじめのある学校生活を送らせる」について
 - ・(意見) 最終反省で 1・2 学年は「一部の生徒がけじめのある学校生活が送れていない」とあるが、3 学年になると解消されるのか。
 - ・(回答) 少数の生徒による影響を他の生徒が受けてしまっている状況があるので、根気強く声かけ等を行って指導を続けていきたい。
 - ・(意見) 大人になってから先生の話や声かけの本当の意味に気づくことがある。大変かもしれないが、これからも根気強く声かけをしてもらいたい。
 - ・(意見) 一見、元気そうに見える生徒でも、心の中では悩みを抱えているかもしれない。心のケアや人生を長く楽しく歩めるような手助けをしてもらいたい。
- 4 その他
 - ・(意見) 県高校総合文化祭など、校内・校外に関わらず行事に関して広く保護者に案内を出してほしい。できるだけ参加したい。